

ふくい社会福祉



Fukui Social Welfare

写真で振り返る「プレイバック平成のボランティア①」第2回全国ボランティアフェスティバル「福井」（平成5年9月）



※写真の説明は最終ページに記載

【右下】大会を記念したモニュメント（福井駅前中央通り）

CONTENTS

ボランティア活動の変遷で振り返る“平成”

2,3P

特集

テーマ：「NPO法人の登場」

まち・ひと・キラリ 福井県子どもNPOセンター

4,5P

報告

◆ 県社協新年度事業計画・予算

6,7P

社協 TOPICS

- ◆ 福井県運営適正化委員会調査報告
- ◆ 介護出前講座のご案内
- ◆ 積善会号助成報告

8P

◆ 寄付・寄贈

◆ ふくい福祉就職フェアのご案内

◆ 介護支援専門員試験直前研修会のご案内

別紙

賛助会員名簿



令和元年度特別企画 ボランティア月間制定30周年記念

「ボランティア活動の変遷で振り返る『平成』」

5月号テーマ「NPO法人の登場」

年号が平成から令和へと変わり、いよいよ新しい時代が幕を開けました。折しも今年、本会が9月を「ボランティア月間」に制定してから30年目の節目を迎える年。まさに平成という時代は、ボランティア活動の広がりという点においてもさまざまな出来事が起こった時代でもありました。

そこで今年度の「ふくい社会福祉」では、特別企画として「ボランティア活動の変遷で振り返る『平成』」と題して、毎月さまざまな切り口から平成のボランティア活動を振り返っていきます。



NPO法人の登場

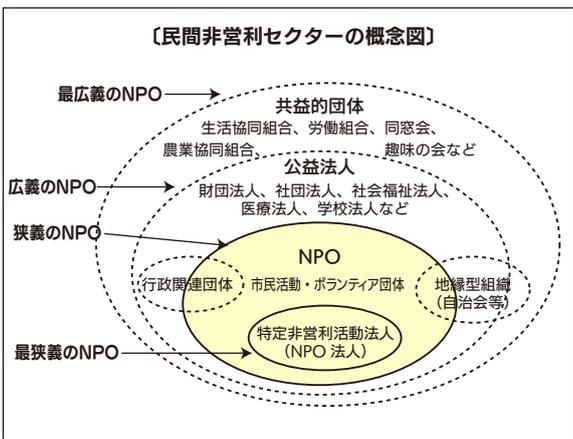
平成7年1月に発生した「阪神・淡路大震災」の復興支援に個人や任意のボランティア団体を含め、延べ100万人を越える人たちが活躍したほか、ボランティアをコーディネートする市民組織の誕生や、世界中から多くの義援金が集まったことから、この年はボランティア元年」とも呼ばれています。しかし、集まった多くの団体は法人格を持たない任意団体であり、義援金の受け皿となる公的な組織や仕組みがなかったことから、様々な活動に取組む市民団体の活動や組織のあり方、法整備の必要性がクローズアップされました。

そして平成10年3月、市民団体からの要望を受け、超党派のNPO議員連盟を中心とした議員立法によって「特定非営利活動促進法（NPO法）」が制定されるとともに、条件を満たす団体が「特定非営利活動法人」として法人格を取得できるようになりました。

NPOとは?

NPOとは Nonprofit Organization

の略で、「民間非営利組織」と訳されます。特定非営利活動促進法が「NPO法」と呼ばれているため、NPOが法人格を取得した団体のことと思われることも多いのですが、本来的なNPOとは、こうした狭い捉え方ではなく、法人格の有無や種類（NPO法人、公益法人、一般法人、社会福祉法人、協同組合など）を問わず、民間の立場で、社会的なサービスを提供したり、社会問題を解決するために活動する団体等を指します。



特に市民によって支えられている「市民活動団体」や、組織に関わる人のほとんどが自発的なボランティアで構成されている「ボランティア団体」がNPO法人格を持つことで、社会的な信頼を得られ、組織としての基盤整備や活動の拡大へとつながっていきました。

「NPO法人になると...」

- 寄付金収入が非課税となる。※ただし収益事業で得た利益に関しては一般企業と同じ法人税がかかる。
- 利益や余剰金は全て組織の活動目的のために使わなければならない。※職員等の人件費は活動の必要経費として扱われる。(無報酬ではない)
- 所轄庁に事業報告書や活動計算書などを提出し情報公開をしなければならぬ。

本県でのNPOの広がり

本県においても、平成9年1月に発生した「ロシアタンカー重油流出事故」でのボランティアの活躍を契機に社会的な問題の解決に自主的に取組むNPOの存在が注目されてきました。



〈まち・ひと・キラリ☆〉

キラリワード：子どもと共にまちをつくらう

今回は県内で最も早くNPO法人格を取得し、子どもの健全育成を図る活動で先駆的な取り組みを行っている「認定特定非営利活動法人 福井県子どもNPOセンター」の谷内由美子理事にお話を伺いました。

福井県子どもNPOセンターは平成11年9月に子ども劇場協議会がより発展的に公益活動を目指すため名称を改めNPO法人格を取得しました。

私たちは子どもにとって最善の利益の実現を目指し、子どもの権利条約に謳われた「新しい子ども観」に立って事業を展開しています。団体ができて20年ほどになりますが、その間に社会や家庭のあり方も変わり、地域のつながりが薄くなってしまったと感じています。

だからこそ、未来を担う子どもの今を知り、子どものための環境を地域で育み、子どもと大人が共に成長すること、また、支援の輪を作ることがより重要になっていると考えています。

NPO法人は活動状況を公開しなければならぬため大変なこともあります。私たちの活動を広く知っていただくことで信頼が得られ、支援会員の加入や寄付などご協力いただく機会や他団体と交流する機会なども増え、地域とのつながりをより強く持つことができましたと思います。

私たち市民団体や社協をはじめとした様々な個人、団体がそれぞれできることを協力しあい活動することで支援の輪を広げ、よりよい地域社会を作っていきたいと願っています。

これからも、すべての子どもが豊かな子ども時代を過ごすために、社会の課題に向き合い真摯に活動していきたいと思いません。



認定特定非営利活動法人
福井県子どもNPOセンター
理事 谷内由美子さん

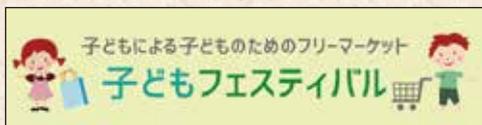
☆こんな活動をしています！

皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

チャイルドラインは、18歳までの子どものためのフリーダイヤルです。抱えている思いをボランティア（受け手）に話すことで少しでも楽になるように、気持ちを受けとめます。毎年受け手を募集しています。



子どもによる子どものためのフリーマーケット「ボクたちのお店」や、楽しい人形劇公演など、子どもが主役のフェスティバルです。ぜひ遊びに来てね。詳細はHPで！ (<http://childnpo.com/>)



●とき：10月26日(土) ●会場：ハピリン ハピテラス他

NPO法成立後、本県では平成10年10月に「特定非営利活動促進法施行条例」が、平成12年3月には「福井県県民社会貢献活動支援条例」が制定されるとともに、同9月には「福井県県民社会貢献活動支援基本計画」も策定されるなど、「自分たちの地域の課題は自分たちで解決する」という県民の自主性、自発性に基づいて公共の課題解決を進めていく原動力として、NPOの活動が広がりました。

平成29年3月末時点で、本県では2

社協とNPOの協働

44のNPO法人が認証されており、活動分野別の割合では、子どもの健全育成を図る活動が最も高く、次いで保健、医療または福祉の増進を目的とする活動の割合が高くなっています。

NPO法人の登場による県民の課題解決意識や参加意識の高まりを受け、本県では、平成16年度から3年間をかけて、「福祉でまちづくり（社協・N

P O等の協働モデル）推進事業」にも取り組んできました。地域におけるつながりの希薄化が社会的孤立や生活課題の深刻化にもつながることが指摘される中、市民活動としてのNPOが果たす役割は大きく、県内社協にはNPOや地縁組織、自治体等をつなぐ橋渡し機能が求められています。



【参考】

内閣府NPOHP
(<https://www.npo-homepage.go.jp/>)
日本NPOセンターHP
(<https://www.jnpoc.ne.jp/>)
NPOの基礎知識HP
(<http://www.dreamisland.cc/npo/index.html>)
福井県民活動・ボランティアセンターHP
(<http://info.pref.fukui.jp/danken/npo/index.php>)
福井県HP
(<http://www.pref.fukui.lg.jp/kyouiku/jinken11/cat2201/index.html>)
福井市HP
(<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/mati/npo/npotoha.html>)

(平成31)年度事業がスタート!

【重点項目】

- 1 地域共生社会の実現に向けた取り組み
 - (1) 地域活動（ボランティア活動等）や居場所づくりを通じた共生意識の醸成
 - (2) 生きづらさを「丸ごと」受け止める地域づくり
- 2 福祉人材の確保・定着のための取り組み
 - (1) 福祉・介護の仕事のイメージアップ、働きやすい環境整備
 - (2) 再就職からキャリアアップまでの総合的な支援
- 3 組織経営基盤強化に向けた取り組み

2 福祉サービス利用者の利益保護と権利擁護機能の強化

- (1)福祉サービス苦情解決事業の推進
 - ◆苦情解決体制整備等に関する事業所訪問相談の実施
 - ◆「福祉サービス苦情解決機能強化セミナー」の開催など
- (2)日常生活自立支援事業の実施
 - ◆契約締結審査会の運営等
 - ◆福祉サービス利用援助事業の推進（17市町社協へ委託）
- (3)高齢者権利擁護推進事業の実施
 - ◆高齢者専門相談窓口、高齢者権利擁護相談窓口の開設
 - ◆高齢者権利擁護対応専門職チームの派遣など
- (4)成年後見講座の開催、市町社協法人後見センター支援

3 社会福祉法人の地域貢献活動における連携・支援

- (1)福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会の事務局運営
- (2)生活困難者に対する相談支援事業の実施

4 社会福祉法人・施設の適正な経営を行うための相談・支援体制の強化

- (1)社会福祉施設経営相談事業の実施
- (2)介護サービス情報の公表事業の実施
 - ◆指定情報公表センター事業、指定調査機関事業の実施
- (3)福祉サービス第三者評価事業の実施
- (4)地域密着型サービス外部評価事業の実施
- (5)保育部会活動の充実
- (6)福祉施設等種別協議会活動への支援
- (7)民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施

IV 福祉力を動かす組織づくり

1 広域ネットワークを活かした災害時福祉救援体制の強化

- (1)社会福祉施設における災害対策支援
 - ◆防災マネジャー養成研修等の実施
 - ◆県内種別協議会災害応援連絡会議、合同訓練の実施
- (2)社協間の災害協定に基づく救援活動の実施
 - ◆相互支援のための実地訓練の実施
 - ◆東海北陸ブロック県・名古屋市社協災害応援協定
 - ◆北陸3県社協合同研修会の開催（富山県・石川県と共催）
- (3)福井県災害ボランティアセンター連絡会との連携

2 災害時に対応できる福井県社協の危機管理体制の強化

- (1)福井県社会福祉センターの機能強化
 - ◆避難者・帰宅困難者支援のための災害用備蓄品の整備
- (2)災害時における事業継続計画（BCP）策定に向けた検討

3 信頼される法人組織の体制強化

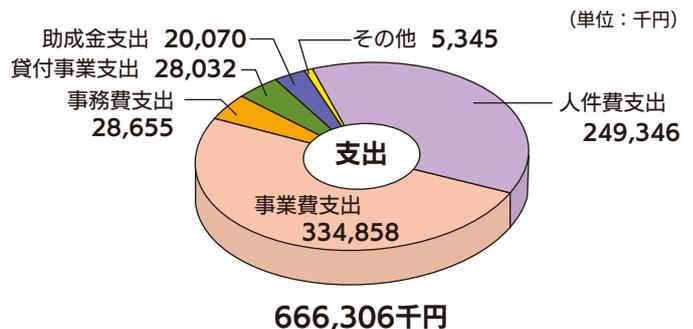
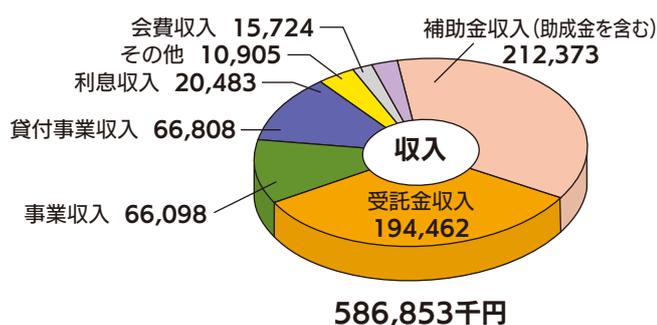
- (1)理事会・評議員会機能の充実と強化
 - ◆**新**ブロック県社協・県共募専務・常務、局長会議の開催
- (2)局内プロジェクトの実施および「ふくい地域福祉プラン21（第5次）」の改定
- (3)職員の資質・専門性の向上
 - ◆職場研修制度に基づく職員のスキルアップ
- (4)業務の進行管理・目標管理等に関する仕組みの強化
- (5)広報誌、ホームページ等を通じた関連情報の提供
 - ◆情報紙「ふくい社会福祉」の発行（年6回）など
 - ◆福祉情報サロン機能（蔵書閲覧等システム）の強化
 - ◆ふくし広報コンテスト、広報力アップセミナーの実施
- (6)福井県社会福祉センターの指定管理業務の推進

4 適切な財務管理と財務体質の見直し

- (1)多様な民間財源の活用と自主財源の確保
- (2)事務、予算の効率的かつ迅速な執行体制の確立
 - ◆事務処理の標準化および運営事務費のコスト削減

令和元（平成31）年度収支当初予算の概要

※ 事業活動による収支状況（基金等原資の資産運用、各会計間における繰入・繰出による収支を除く）



令和元（平成31）年度当初予算における福井県社協の事業活動の収支概要をご理解いただくため、グラフ化したものです。このため、基金等原資の資産運用、各会計間における繰入・繰出など、その他の活動による収支に関する予算は反映させていません。また、事業活動による収支差が、△79,453千円となっていることの説明は次のとおりです。

※前年度までに原資が一括交付されている「福祉人材育成・ひとり親家庭等自立資金貸与事業」（公益事業）が、前期繰越を財源としていたため、当該事業分78,164千円を事業活動支出から控除すると、実質的な当期の資金収支差額は△1,289千円となります。

I 福祉力を育むまちづくり

1 県民みんなが支え合うことができる環境づくり

- (1)介護実習・普及センター事業の実施
 - ◆家庭介護講座、介護出前講座の開催、専門相談員の派遣
- (2)地域ぐるみ福祉教育推進事業の実施
 - ◆市町社協が取り組む福祉教育活動への助成
 - ◆子ども福祉委員設置事業の推進

2 県民の福祉活動・ボランティア活動を後押しする仕組みづくり

- (1)「つながれボランティアの輪推進運動」(7～11月)
 - (新)◆ボランティア月間制定30周年記念事業の実施
 - ◆サマーボランティア体験、ボランティア作文コンクール
 - ◆市町社協のボランティア活動推進事業費への助成
- (2)災害ボランティア活動への支援
 - ◆北陸3県社協「災害支援活動」合同研修会への運営協力
 - ◆災害ボランティア活動に対する意識啓発
- (3)企業等と連携したボランティア活動の促進
- (4)「第66回福井県社会福祉大会」の開催
 - ◆福祉関係者、ボランティア活動者に対する表彰の実施
- (5)各種協賛事業を通じた福祉活動の普及啓発
 - ◆「第8回ふくいチャリティアート展」の開催
 - ◆福祉車両(積善会号)の寄贈
- (6)福井県まごころ基金助成事業の実施
 - ◆民間の先駆的・開拓的な事業に対する助成

3 県民、民生委員、福祉委員等の多様な主体を巻き込んですすめる地域福祉の戦略づくり

- (1)子ども福祉委員設置事業の推進 ※再掲
- (2)福井県民生委員児童委員協議会の支援および民生委員・児童委員活動との連携
- (3)ふくい県民活動・ボランティアセンターとの連携

4 市町社協との連携・協働による地域の福祉課題を解決するための仕組みづくり

- (1)「県市町社協会長会」の運営支援
- (2)市町社協トップセミナー、市町社協事務局長会議、
 - (新)地域福祉担当者会議の開催
- (3)社協ワーカー養成研修、施設・社協ボランティアコーディネーター研修会の開催
- (4)市町社協強化「ステップアップミーティング」の開催
- (5)市町社協の活動を応援する福井県社協の体制強化
- (新)(6)東海北陸ブロック県・政令指定都市社協「福祉活動指導員研究協議会」の開催

II 福祉力を支える人づくり

1 福祉・介護を支える福祉人材確保と定着のための支援の強化

- (1)介護福祉士等修学資金貸付事業の実施
- (2)保育士修学資金等貸付事業の実施
- (3)介護人材確保定着総合推進事業の実施
 - ◆福祉・介護人材のマッチングの強化
 - ◆「ちょこっと就労」の普及・推進
 - ◆事業所訪問による経営基盤、人材確保・育成支援
 - ◆専門家の派遣による個別課題への対応
- (新)◆介護入門的研修の実施

福井県社会福祉協議会 令和元

「誰もが身近な地域で その人らしく 安心して暮らせる 福祉社会の実現」に向け、市町社会福祉協議会、社会福祉施設、福祉関係団体、公的機関等と連携・協働し、県民から期待・信頼される地域福祉の推進を図るため、以下の重点項目に基づき、各種事業に取り組んでいきます。

- (拡)(4)福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク事業の実施
 - ◆ふくい福祉就職フェア、人材確保セミナー等の実施
- (5)学校等訪問・介護職場体験事業の実施
 - ◆小中学生等を対象とした訪問説明、施設体験等の実施
 - ◆親子介護体験バスツアーの実施
 - ◆高校生を対象とした職場体験等の実施
- (6)教員免許介護等体験事業の実施
- (7)福祉施設職員対象の福利厚生センター事業の推進

2 福祉・介護を支える専門職の育成と資質の向上

- (1)福祉職員生涯研修の実施
 - ◆福祉職員生涯研修(キャリアパス対応)の実施
- (2)福祉職員専門課題別研修の実施
- (3)福祉職員業種別・職種別研修の実施
 - ◆保育士研修、認知症介護研修、介護技術向上研修など
- (4)介護支援専門員養成、資格取得支援研修の実施
 - ◆介護支援専門員専門・更新研修の実施
 - ◆介護支援専門員試験準備講習会、模擬テストの実施
 - ◆介護支援専門員実務研修受講試験の実施
- (5)保育士等キャリアアップ研修の実施

3 地域における多様な地域福祉人材の発掘・養成・活動への支援

- (1)介護実習・普及センター事業の実施 ※再掲
- (2)子ども福祉委員設置事業の推進 ※再掲
- (3)施設・社協ボランティアコーディネーター研修会の開催 ※再掲

4 元気高齢者(アクティブ・シニア)の社会参加の促進と生きがいづくり

- (1)明るい長寿社会づくり推進事業の実施
 - ◆「ふくい健康長寿祭2019」の開催
 - ◆「第32回全国健康福祉祭(和歌山県)」への選手派遣
 - ◆高齢者ラジオ放送講座の開講
 - ◆アクティブ・シニア養成支援、地域活動デビュー支援
 - ◆情報誌「福悠人」の発行(年6回)

III 福祉力を活かすシステムづくり

1 生活困窮者の自立支援体制づくり

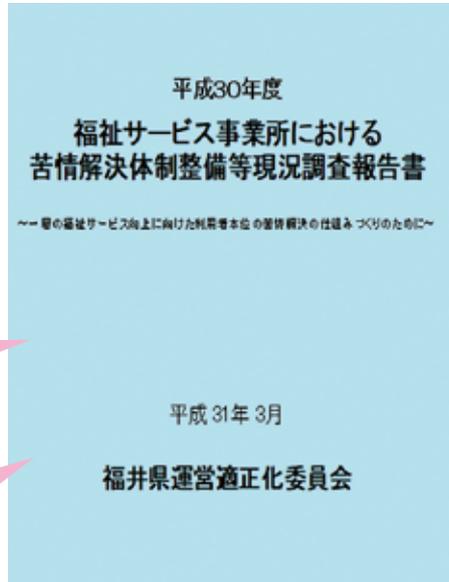
- (1)生活福祉資金貸付事業の実施
- (2)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施
- (3)児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施
- (4)子どもの未来支援事業(地域の居場所づくり等)の実施
- (新)◆「子どもの居場所づくりフォーラム」の実施

福井県運営適正化委員会

平成30年度福祉サービス事業所における 苦情解決体制整備等現況調査報告書のご案内

福井県運営適正化委員会にて平成30年度に県内の福祉サービス事業所（1,481件）に対し、苦情解決体制についてのアンケートを実施し、いただいた回答（953件）を基に報告書を作成しました。

対象となる福祉サービス事業所へは既に送付しておりますが、県社協のホームページでも報告内容をダウンロードできますので、是非ご活用ください。



県内事業所の第三者委員の設置状況や苦情受付件数、苦情の内容等が確認できる！

苦情解決体制の実施要綱(例)や苦情対応マニュアル(例)、受付書等の各種様式(例)も収録

＜お問合せ＞ 総務施設課 施設サービスグループ TEL0776-24-2347 FAX0776-24-8942
E-mail : shisetsu@f-shakyo.or.jp ホームページ : http://www.f-shakyo.or.jp/

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
定員		
補基本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円



です。
充実した補償と
割安な保険料

スケールメリットを活かした

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償 **改定**
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) **改定**

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事(保険会社)〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL : 03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



『介護出前講座』のご案内

福井県社会福祉協議会では、家庭介護に必要な知識、技術を学ぶ介護出前講座を実施しています。福祉現場の経験豊富な講師が、地域グループの勉強会や職場研修の会場に出向き講座を行います。あなたの地域や職場で介護出前講座を開催しませんか？

テーマは「腰痛にならないための体の起こし方」「食事の工夫やお世話のしかた」「排せつのお世話」「認知症の理解と接し方」「介護ストレス解消」等。ご希望のテーマを一つお選びいただきお申し込みください。講座にかかる費用は無料です。

申込書は、<http://kaigo.f-shakyo.or.jp/>【平成31年度介護出前講座のご案内】からダウンロードできます。

〔問合せ先・申込先〕



福井県介護実習・普及センター
福井県社会福祉協議会 嶺南支所

TEL0776-24-0086
TEL0770-52-7832



「積善会号」があなたのまちへ

～福祉サービス車両購入助成事業～

県社協では、福祉サービスの向上に寄与することを目的に、県内の社会福祉法人の車両購入費用の一部を助成しており、平成30年度は3法人への助成を行いました。

助成法人名	所在地	助成車両
社会福祉法人 新清会	福井市	トヨタ ヴォクシー
社会福祉法人 大関保育園	坂井市	三菱 ローザ
社会福祉法人 海楽園	越前町	スズキ アルト



大関保育園購入車両

助成法人の声

社会福祉法人 新生会

この度は、福祉車両購入助成金を頂きありがとうございました。

利用者さまが、車イスのままでも乗れる車両を購入させていただきました。

安全運転に心がけ利用者様の送迎や外出行事等に活用させていただきます。今後も利用者様の笑顔がたくさん見られるように活動していきたいと思っております。

社会福祉法人 大関保育園

この度は、バス入れ替えの助成金を頂き本当にありがとうございました。

園児たちの朝夕の送迎は勿論のこと、園外保育でいるんなところへ連れて行き、沢山の思い出になりますよう、大切に使用させていただきます。

社会福祉法人 海楽園

この度は助成金を頂きありがとうございます。

細い道に入ることが多いので小回りのきく軽車両を購入させて頂きました。

家の前まで送り迎えが出来るので足の不自由な方の送迎にも重宝しております。

この事業は、平成25年（2003年）11月に解散した「財団法人積善会」基金の一部を県社協が継承し、福祉サービスの向上のための事業に活用しているものです。

寄付 寄贈

♥ 4月24日(水)

贈呈者 株式会社 ムラタ 様 (福井市)
車いす 5台

寄贈先 デイサービスセンターあわらサンホーム (あわら市)
宝珠苑デイサービスセンター (福井市)
デイサービスセンターあじさい園 (坂井市)
海楽園デイサービスセンター (越前町)
高浜町デイサービスセンター (高浜町)



社会福祉事業や
ボランティア活動の
振興のために
活用させていただきます。

♥ 5月8日(水)

寄付金 10,146,374円

寄付者 福井市 女性 (故人の遺言によりご寄付いただきました。)

寄付先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 (ボランティア基金へ)

「ふくい福祉就職フェア(福祉の職場説明・面談会)」のご案内

福井県社会福祉協議会 福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、福祉分野への就職希望者が、社会福祉施設等の求人担当者と直接面談し、施設の魅力や採用の情報等について話し合える福祉就職フェア(面談会)を開催します。

県内の求人予定のある福祉施設・事業所の人事担当者が皆さまをお待ちしております。福祉のお仕事に就きたいと考えている方、福祉のお仕事に興味はあるけどまずは福祉の仕事の内容などを知りたい方など、福祉の仕事に興味のある方なら、どなたでも、参加自由(無料)です。

皆様のご来場をお待ちしております。



■嶺北会場

場 所：福井県産業会館「2号館展示場」
(福井市下六条町 103 番地)

日 時：令和元年6月9日(日)
13:00~16:00

問合せ：福井県福祉人材センター
TEL0776-21-2294・28-3180

■嶺南会場

場 所：敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」
(敦賀市東洋町 4 番 1 号)

日 時：令和元年6月16日(日)
13:30~15:30

問合せ：嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所
TEL0770-52-7833

介護支援専門員試験直前研修会

介護支援専門員として必要な基礎知識を習得し、介護支援専門員実務研修受講試験に備えるため、模擬テストを実施します。

●日 時 8月31日(土) 9:45~14:40

●会 場 福井県中小企業産業大学校 大教室
(福井市下六条町16-15)

●受講料 8,000円/人

●日 程

9:45~10:00	開 会 オリエンテーション
10:00~12:00	【模擬テスト 120分】
12:00~12:40	昼食休憩
12:40~14:40	【答え合わせと解説】 ※後日、模擬試験の成績表を送付します。

●申込方法 HPから申込書をダウンロードし、7月31日(水)までに郵送またはFAXでお申し込みください。

●申込み・問合せ先 人材研修課 研修グループ TEL0776-21-2294 FAX0776-24-4187

▶表紙の写真◀

平成5年9月の「第2回全国ボランティアフェスティバル福井」は、前年の兵庫県に次ぐ全国2番目での開催。「ボランティア月間」中の9月25・26日、フェニックスプラザと福井市体育館を会場に、約1万人がボランティア活動について想いや気づきを共有。

また、大会テーマ『やさしく めくもりのある ふるさと創造』を踏まえ、「子ども達に夢と希望をもって未来に生きてほしい」との願いを込め、福井震災(昭和23年)で片腕をなくした彫刻家、加藤恒勝さんが「手のひらに折鶴をのせた子どもの像」を制作し、今も福井駅前でその願いを伝え続けている。

賛助会員名簿

お寄せいただきました会費は、一人ひとりの尊厳が守られる社会構築を目指し、地域福祉を総合的に推進するさまざまな活動に役立てさせていただきます。

(平成31年4月25日現在)

※法人格を除いた社名・団体名の五十音順

福井市

- あおい企画株式会社
社会福祉法人寿の会
アシスト福井株式会社
株式会社アスピカ民救サービス
社会福祉法人足羽福祉会
株式会社アタゴ
株式会社安部書店
株式会社アラモト
アルマ千寿
株式会社井ザワ画房
株式会社石川コンピュータ・センター
井上商事株式会社
イワイ株式会社
医療法人幸若会 打波外科胃腸科
栄月株式会社
S M B C日興証券株式会社 福井支店
有限会社興義肢製作所
奥武建設工業株式会社
オフィス上村
学校法人金井学園
株式会社カワグチ
河和田屋印刷株式会社
川村 昭夫
木村興業株式会社
- レントオール福井株式会社
清川メッキ工業株式会社
銀扇福井株式会社
久我 晶
株式会社ケア・フレンズ
有限会社康守商会
医療法人厚生会
税理士法人合同経営会計事務所
光陽生協病院
小林電工株式会社
コマツサービスエース株式会社
酒井電機株式会社
サカセ化学工業株式会社
株式会社三協土建
株式会社シー・ディー・アイ
株式会社J T B中部 福井支店
医療法人健康会 嶋田病院
株式会社ジャストコーポレーション
硝和硝子株式会社
株式会社昭和堂
学校法人福井仁愛学園
株式会社新内
スバル食品株式会社
瀬戸 百合子
創文堂印刷株式会社
大栄株式会社
- 大和電建株式会社
株式会社タツセイ
株式会社田中化学研究所
有限会社辻事務機商会
富永病院
株式会社ナイガイ
株式会社にしはた
株式会社日刊県民福井
公益財団法人日本電信電話ユーザ協会 福井地区協会
日本ミール株式会社
株式会社野村塗装店
株式会社ハヤカワ
光タクシー有限公司
平田鉄工株式会社
廣部 すみえ
福井 A R C
福井エフエム放送株式会社
福井県環境保全協業組合
株式会社タビックスジャパン 福井支店
株式会社福井観光トラベルサービス
株式会社福井銀行
一般社団法人福井県建築組合連合会
福井県生活協同組合連合会
株式会社福井建材社
福井県済生会病院
公益社団法人福井県ビルメンテナンス協会
- 公益財団法人福井市ふれあい公社
有限会社福井新世紀ケアサービス
福井新聞社
福井信用金庫
福井総合病院
福井テレビジョン放送株式会社
福井放送株式会社
福井ヤクルト販売株式会社
福泉信用組合
藤田製本印刷株式会社
富士フソー株式会社
株式会社プリベント
株式会社ホクシン
ホテルリバージュアケボノ
株式会社ホリタ
前田建設工業株式会社 福井営業所
公益財団法人松原病院
ミカミ看板
水野公文堂
みずほ証券株式会社 福井支店
株式会社ミタス
三谷設備株式会社
三津井証券株式会社
株式会社ミツノリ
有限会社ミドリヤ
ムラセ看工店

株式会社名譽社

名鉄観光サービス 福井支店

メイプルケア有会社

株式会社山崎塗装店

株式会社ヤマシタコーポレーション 福井営業所

株式会社ユアーズホテルフクイ

陸整自動車株式会社

隆機工業株式会社

株式会社リンクコーポレーション

和田こども園

敦賀市

株式会社かくだ 敦賀ケアセンターかくだ

医療法人積善会 猪原病院

株式会社ミヤゲン

小浜市

株式会社木内計測 若狭支社

大野市

株式会社アドプロ

デイホームひだまりでい

勝山市

勝山交通株式会社

鯖江市

株式会社ウォンツ

医療法人日野会 谷川病院

福井トータルケア株式会社

合資会社藤田印刷所

あわら市

株式会社グランディア芳泉

坂井地区医師会

越前市

医療法人笠原病院

介護老人保健施設シルバーハイツ武生

大和建設株式会社

医療法人白百合会 武生記念病院

株式会社オーディオテクニカフクイ

医療法人林病院

株式会社ふじや食品

坂井市

株式会社三和商会

医療法人社団茜会

福井システムズ株式会社

三谷コンピュータ株式会社

サンキ株式会社

第一織物株式会社

株式会社サカイ・ミート

社会福祉法人坂井来春会

東尋坊ひまわりの丘

医療法人慈風会 宮崎病院

前田工織株式会社

株式会社ワタナベ印刷

南越前町

医療法人加藤医院

越前町

丹生ケアセンターひまわり荘

ライフガード越前朝日

美浜町

山崎 俊太郎

若狭町

有限会社今井技研 アイちゃん堂

株式会社前田産業

介護老人保健施設 ゆなみ

県外

サーマエンジニアリング株式会社

白石薬品株式会社

株式会社ケアステーション新日本

中央法規出版株式会社

賛助会費は一口5,000円です。民間団体として、
柔軟で効果的な活動を図るため、ぜひご協力をお願いします。

問合せ先 総務施設課 総務グループ

TEL0776-24-2339